

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立遠里小野小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	住吉
学 校 名	大阪市立遠里小野小学校
学 校 長 名	林 真美子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立遠里小野小学校では、第6学年 20名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立遠里小野小学校の結果概要

令和８年度において、国語科では、平均正答率が４６％（大阪府５９％、全国６０．９％）であり、全国平均を１４．９ポイント下回った。算数科では平均正答率が４５％（大阪府５６％、全国５６．４％）であり、全国平均を１１．４ポイントも下回った。国語科と算数科の両教科において、遠里小野小学校の課題である学力の低さが顕著に表れる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】分野ごとに明確な成果と課題が表れる結果となった。成果として、「Ｂ書くこと」は正答率７０％を記録し、全国（６５．９％）および大阪府（６５．３％）を明確に上回った。また、記述式の正答率も５０％と全国平均（５４．９％）に近い水準を記録した。自身の考えを文章で表現する指導の成果が表れた。一方、「Ａ話すこと・聞くこと」の正答率が２２．５％と、全国平均（４５．７％）の平均程度に留まり、低迷している。音声言語を通じた情報の読み取りや整理に大きな課題があった。また、「言語の特徴や使い方に関する事項」の正答率も３５％（全国５２．３％）と低く、語彙や文法などの言語知識の定着にも課題が残った。正答数０～５問の児童が約４５％を占めており、学年全体の底上げが必要である。

【算数】成果として、領域別では「数と計算」５３．１％や「測定」６５％、および「選択式」問題５３％において、全国平均に近い数値を維持しており、基礎的な計算力や選択肢から知識を導く素地が整っている。一方で、「変化と関係」の正答率が２０％（全国４１．１％）と全国の半分近くまで落ち込んでいるほか、「図形」３２．５％（全国５５．３％）の低さも顕著である。観点別では、「思考・判断・表現」３０％、形式別では「記述式」３５％と低迷しており、割合や関係性の概念理解、および条件を読み解いて自分の言葉や式で論理的に説明する活用力に課題が集中している。１２～１３問正解の最上位層に４名が位置している一方で、１０～１１問で０名となっており、９問以下にとどまる１６名との層の間に明確な「谷間」が存在している。高得点を狙える層と、中盤～基礎段階でつまづく層の間で習熟度の二極化が生じている。

質問調査より

遠里小野小学校の強みと課題が明確に表れる結果となった。強みとして、社会貢献意欲の高さが伺えた。（１４）「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では、最も肯定的な回答が７７％に達し、大阪市（７４％）や全国（７０．８％）を上回った。「役に立ちたい」という意欲・規範意識が見られた。一方、課題として、結果から大きく二つのことが明確になった。一つ目は自己肯定感・承認感における「強い自信」の不足である。（８）「自分には、よいところがあると思いますか。」では、最も肯定的な回答が２３％と大阪市（５１％）・全国（４３．６％）の約半数にとどまっている。また、（９）「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」では、最も肯定的な回答が３６％（大阪市６２．１％・全国５３．４％）と低めの結果となった。自己評価・他者承認の両面で、強い実感や自信が持ちきれない傾向が顕著に表れた。二つ目は、行動への踏み出しの欠如である。（１１）「人が困っているときは、進んで助けていますか。」では、「どちらかといえば当てはまらない」が１８％（大阪市５．１％・全国５．６％）と高めの結果となった。役に立ちたい意欲はあるものの、実際の行動に移すことに不安や難しさを感じている様子が伺える。

今後の取組（アクションプラン）

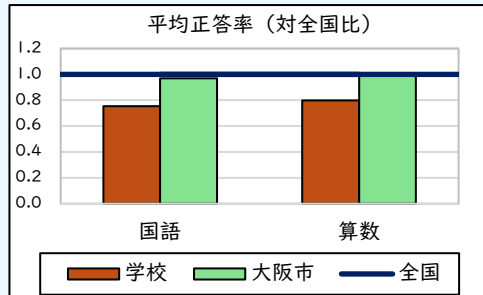
国語科と算数科において、平均正答率が全国・大阪市よりも低かった結果を踏まえると、学力の向上を図ることが必要である。そのために、今年度の研究を「教師力の向上」と定め、その中で授業力の向上や授業改善に努める。そして、「主体的・対話的で深い学び」の実践を行い、児童の学びを深めていく。また、児童一人ひとりの習熟段階に応じた個別最適なアプローチを取り入れていくことで知識の定着化を高め、学年全体の学力の底上げと二極化解消を図っていく。

学力向上に向けて、授業中だけでなく、教育活動全般において、「主体性」と「確かな自信」を育成する実践を行っていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

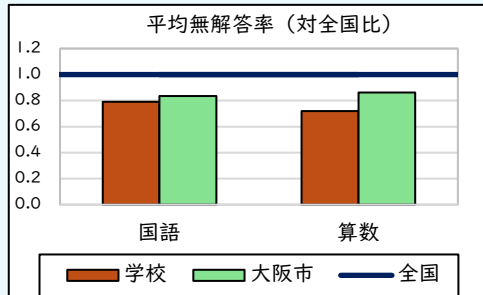
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	46	45
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



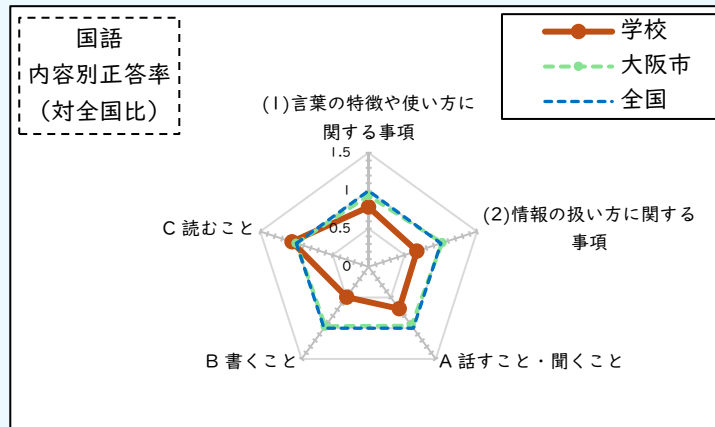
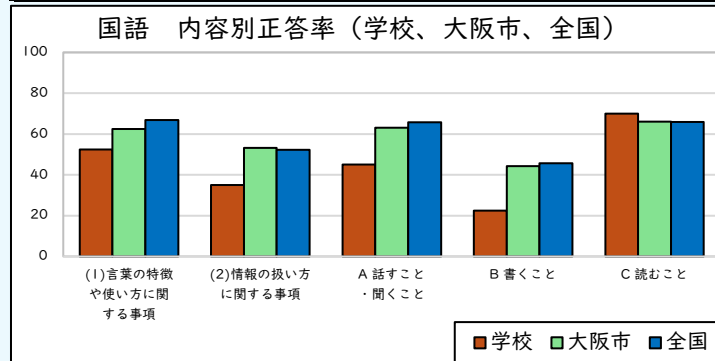
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.7	2.3
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



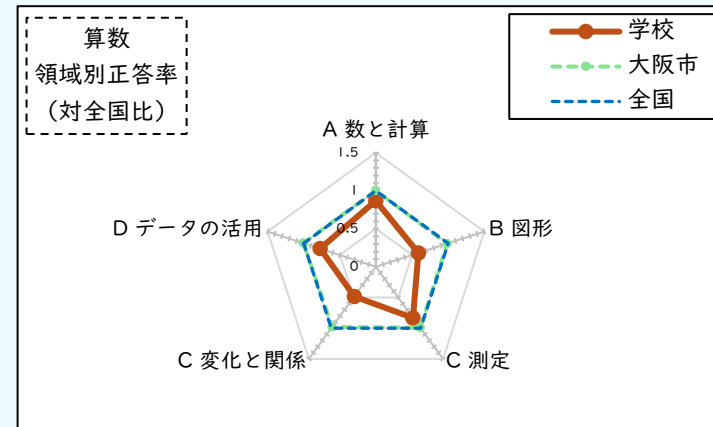
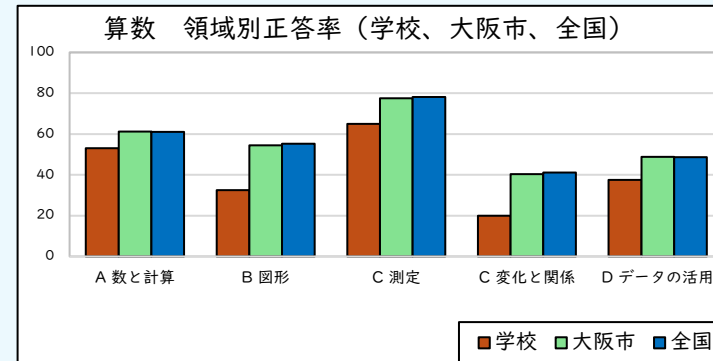
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	52.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	35.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	45.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	22.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	70.0	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	53.1	61.2	61.1
B 図形	4	32.5	54.5	55.3
C 測定	1	65.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	20.0	40.3	41.1
D データの活用	4	37.5	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

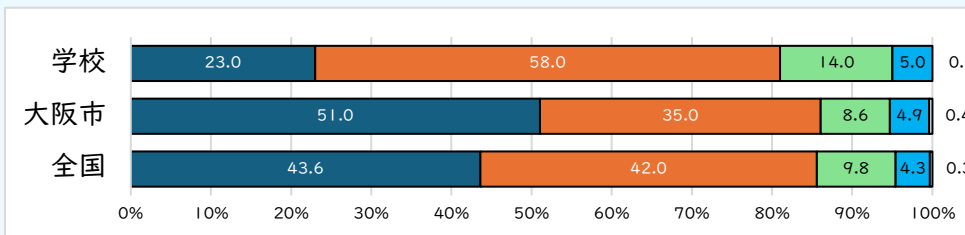
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

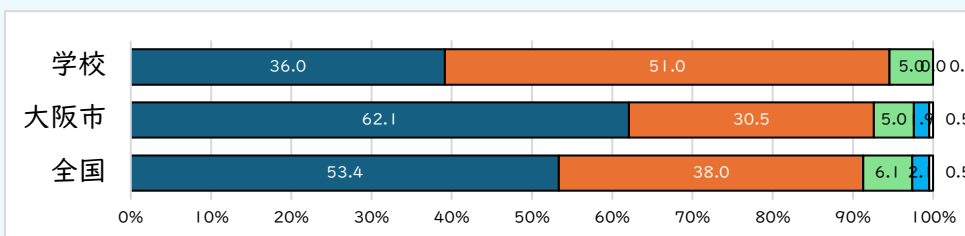
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



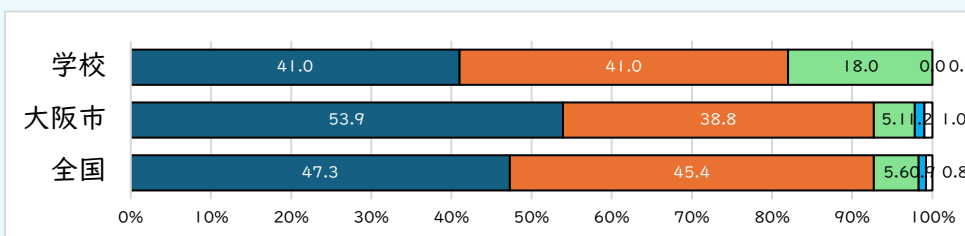
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



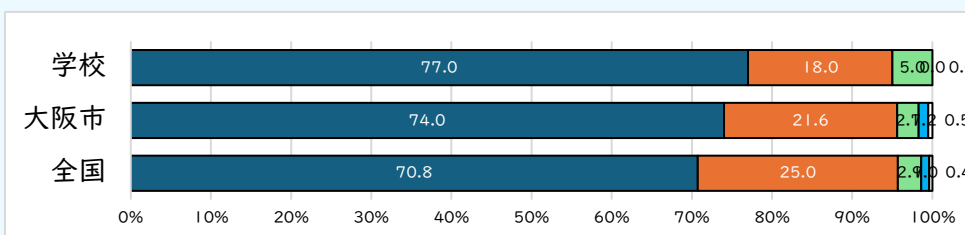
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(11) 人が困っているときは、進んで助けていますか



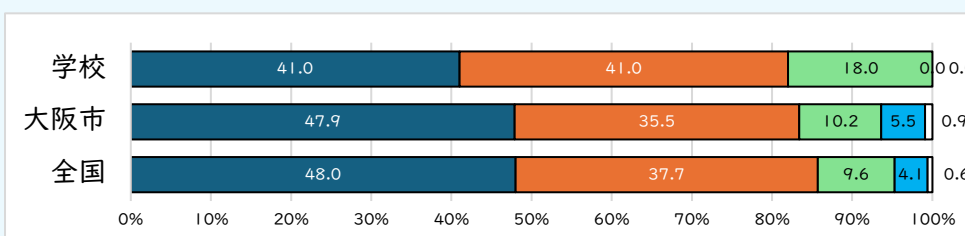
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

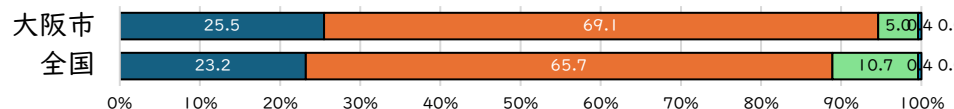
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

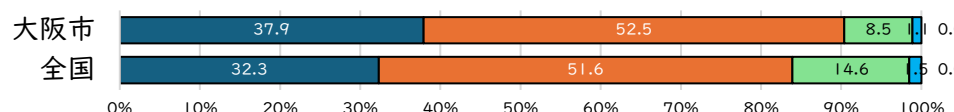


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

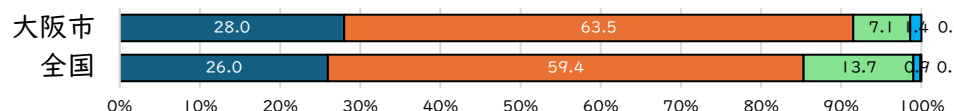


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(9)

調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

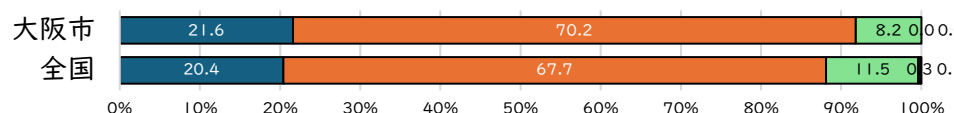


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

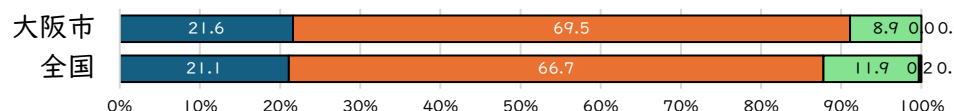


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(28)

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない